

『就実論叢』第47号 抜刷

就実大学・就実短期大学 2018年2月28日 発行

男性保育者に対する保育学生の意識に関する調査

A survey of the consciousness of childcare student to male childcare worker

松 本 希
宮 宅 健 人
澤 津 ま り 子

男性保育者に対する保育学生の意識に関する調査

A survey of the consciousness of childcare student to male childcare worker

松 本 希 (幼児教育学科)

MATSUMOTO Nozomi

宮 宅 健 人 (ひばり保育園)

MIYAKE Kento

澤 津 まり子 (幼児教育学科)

SAWAZU Mariko

キーワード：男性保育者，保育学生

I. 緒言

男性保育者をめぐる議論は度々起こる。今年においても、千葉市が男性保育士の働きやすい環境を作ることを目的として「千葉市立保育所男性保育士活躍推進プラン」¹⁾を策定した中の、‘性差に関わらない保育の実施’等に対し、男性保育士が女児の着替えやおむつ替えをすることを巡って、賛否両論の大きな議論となった。このプランは、平成39年までの間、男性保育士の保育所長、総括主任保育士の登用等の目標数を掲げ、男性保育士活躍推進のための具体的取り組み内容を示している。我々が未就学児の保護者を対象に行った先行調査²⁾では、ほとんどの保護者は男性保育者を肯定的に捉えているものの、その中には男性保育者に自身の子どもを保育してもらう場合に、子どもの年齢を制限したいと考えている保護者がいることもわかった。その理由の中には、男性保育者の女児のおむつ替えを心配する回答があった。

男性保育者は年々増加傾向にある。国勢調査によると、保育所に勤める男性保育士は、2000年で4,666人（全体の1.3%）³⁾、2005年で9,277人（全体の2.2%）⁴⁾が、2010年には12,100人（全体の2.5%）⁵⁾であるが、依然として全体に占める割合は低いままである。現在の学生が保育所を利用していた約15～20年前は2000年頃であり、国勢調査の結果から男性保育士が増加し始めた頃と重なる。加えて、1999年には男女雇用機会均等法が改正になり、それまでの「保母」から「保育士」に呼び名が変わり、同年に男女共同参画社会基本法が制定された。そのため、未就学児を持つ保護者より若い年齢層の学生にとっては、保育所で保育に携わっていた先生はすでに「保育士」と呼ばれており、男性保育者が在籍していた保育所に通園していた学生も少なからずいると考える。このようなことから、現在の学生は男性保育者に対して、保護者とは異なった印象や考えを持っている可能性がある。そこで本調査は、保育を

学ぶ保育学生を対象に、男性保育者に対する意識について調べた。

本稿で用いる「保育者」とは、保育士資格または幼稚園教諭免許の両方もしくはどちらか一方を持ち、保育所及び幼稚園、こども園で保育職に従事する人を指している。

Ⅱ. 目的

本調査は、保育を学ぶ保育学生を対象に、男性保育者に対する意識を調べ、男性保育者を取り巻く現状と課題を明らかにしていくための手がかりを得るために実施したものである。

Ⅲ. 方法

1. 対象者

本学幼児教育学科に在籍していた2年生89名（男性3名、女性86名）を対象に記入式アンケート調査を行った。対象者には、研究内容及び倫理的配慮、個人情報取り扱いを文書と口頭にて説明し、同意を得た後に非強制的に実施した。アンケート調査は無記名で実施した。

2. 調査と分析方法

対象者にアンケート用紙を配布し、記入をお願いした。質問項目は表1に示す通りである。得られた結果は単純集計した。アンケート調査は11月に行った。ほとんどの対象者は7～8月にかけての20日間、保育所へ保育実習に行き、全ての対象者は9月に4週間の幼稚園教育実習を行った。

表1. アンケート内容

	質問項目	回答方法
①	幼少期に通っていた保育所・幼稚園に男性保育者はいましたか	はい（人数）・いいえ
②	実習先（保育所・幼稚園）に男性保育者はいましたか	はい（人数）・いいえ
③	男性保育者は賛成ですか、反対ですか	賛成・反対
④	男性保育者と一緒に働きたいですか	はい・いいえ
⑤	自分の子どもを男性保育者に担当してもらいたいですか	はい・いいえ
⑥	(⑤で担当してもらいたいと答えた人) 子どもの年齢の制限はありますか	はい（ 歳）・いいえ
⑦	男性保育者に望むこと	自由記述

Ⅳ. 結果

1. 男性保育者の在籍

表2. 男性保育者の在籍

	はい	いいえ	未回答
幼少期に通っていた保育所・幼稚園に男性保育者はいましたか	保育所 6 幼稚園 7	73	4
実習先に男性保育者はいましたか	保育所46 幼稚園21	40	5

* 保育所・幼稚園の在籍数は述べ人数（人）

表2に示す通り、幼少期に男性保育者が保育所・幼稚園に在籍していたか尋ねたところ、12か所の保育所・幼稚園に男性保育士がいたことがわかった。これは全体の13.5%にあたる。

実習先の保育所・幼稚園の男性保育者の在籍の有無では、約半数の学生が保育所と幼稚園の一方もしくは両方に男性保育者が在籍していたことがわかった。

2. 保育学生からみた男性保育者の賛否

図1に保育学生の男性保育者の賛否の結果を示した。数字のみをみると88.8%の学生が男性保育者を賛成と答えた。「どちらでもない」と答えた保育学生の理由には、「賛成も反対もない、当然のことだと思う」といった意見もあった。その他の理由を以下に示す。

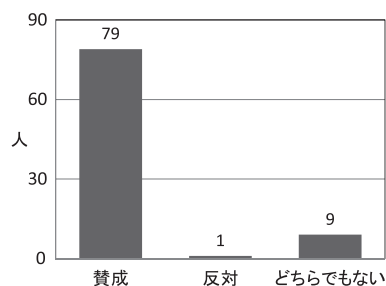


図1. 保育学生の男性保育者の賛否

賛成

- ・保育者に男女の性別は関係ない
- ・男性も女性もいる方が、考えや仕事を補える
- ・力仕事や体を使って思いきり遊んでくれそう
- ・男性からみた意見や考えを持っており、よりよい保育ができそう
- ・お父さんのような存在がいたらよいと思う
- ・男児の気持ちに寄り添える
- ・弟が担任をもってもらって、よかったから
- ・子どもに男性との関わりを経験してほしい

どちらでもない

- ・賛成も反対もない、当然のことだと思う
- ・男性保育者に遭遇したことがない

3. 男性保育者と一緒に働きたいか

図2に示す通り、64%の保育学生が男性保育者と一緒に働きたいと答え、34.8%の保育学

生が「どちらでもない」と答えた。それぞれの意見を以下に示す。

はい

- ・力仕事や行事の準備が助かる
- ・父親目線がわかる
- ・いろいろな人の保育を知りたい
- ・女性とは異なった視点, 考え方があり勉強になりそう
- ・実習の時に元気な姿を見て, 一緒に働きたいと思った
- ・男性保育者とあまり関わりがないので, 一緒に働いてみたい
- ・職場の雰囲気が和みそう
- ・就職決定先に男性保育者がいる

どちらでもない

- ・一緒に仕事をするのに, 男女は関係ないと思う
- ・遭遇したことがないからわからない
- ・人による

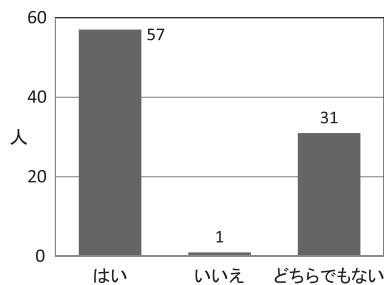


図2. 男性保育者と働きたいか

4. 自分の子どもを男性保育者に担当してもらいたい

自分の子どもを男性保育者に担当してもらいたいと尋ねたところ, 約40%の学生が担当してもらいたいと答え, 57%の学生が「どちらでもない」と答えた。3名のみが「いいえ」と答えた。男性保育者が担当する場合に, 子どもの年齢の制限があるか尋ねたところ, 4歳からが3名, 3歳からが5名, 2歳からが1名であった。

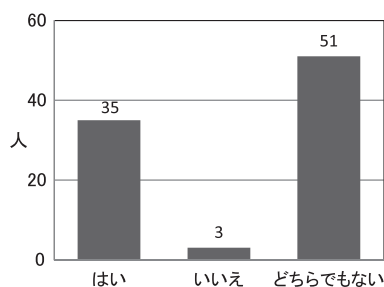


図3. 男性保育者の担当の可否

V. 考察

アンケート調査の結果から, 保育学生が保育所・幼稚園に通っていた時と実習時を比較して, 保育施設で働く男性保育者が増加していることがわかった。保育所では約8倍, 幼稚園では3倍の増加である。近年, 男性保育者が増加している背景と合致している。

保育学生の約9割が男性保育者に賛成であると肯定的に捉えていた。男性保育者と積極的に働いてみたいと答えた学生は約6割強であった。「どちらでもない」と答えた学生の理由をみると, そもそも保育者の性差を意識していない回答も多くあり, 職業人として「男性だから, 女性だから」といった考えを持つ学生は少ないようであった。一方で, 幼児期及び実習時にも保育所・幼稚園に男性保育者が在籍しておらず, 関わった経験の無い学生は, 男性

保育者と一緒に働くことへのイメージが具体的に湧かないようであった。女性保育者を対象とした先行研究によると、男性保育者に対する不安は、男性保育者の在籍しない保育園より在籍する保育園の方が少ないとの報告もある⁶⁾。本調査の男性保育者の賛成理由や「一緒に働きたい」と思っている理由に、‘弟が担当してもらってよかった’や‘実習先で男性保育者と一緒に保育をしてみても参考になることがあった’等の意見が多々あり、実際に男性保育者と接した経験が男性保育者に対する不安を取り除いたり、保育者の性差に関わらない保育の在り方を認識したりするきっかけになったものと予測する。このことから、保育学生が幼少期もしくは保育現場で働き始めるまでに、男性保育者との接点を持つことは協働で円滑に職務を進めるためにも必要であると考ええる。

保育学生が男性保育者を賛成する理由は、主に「男性らしさを活かした活動」「男性視点」「父親的役割」に分類することができ、これは保護者や保育者を対象とした先行研究と同様の結果であった^{2) 7) 8)}。

自分の子どもを男性保育者に担当してもらいたいのかとの問いは、「どちらでもない」と答えた保育学生が多かった。男性保育者の賛否の問いと同様に、「どちらでもない」と答えた保育学生の多くは「男性だから、女性だから」といったこだわりが無いようであった。加えて、一般的に保育施設や学校現場において、保育者や教員の受け持ちクラスは、施設側が決めることであり、保護者には決定権が無い場合がほとんどであることも「どちらでもない」の回答が多かった原因の一つかもしれない。極少数の回答ではあったが、保育学生においても男性保育者に自身の子ども保育を担当してもらいたくない者もいた。また、男性保育者に自身の子どもを担当してもらう場合に、担当する子どもの年齢を制限したいと考えている者もいた。我々の先行研究²⁾では、男性保育者が子どもの保育を担当する場合に子どもの年齢を制限したいと答えた保護者は約4割であったが、保育学生では約2割であった。このことは、保育学生が男性保育者を実際に幼児期や実習時に間近で見たり、保育のことを学んだりする中で、専門職として保育者の仕事を捉えることができているためではないかと予測する。

男性保育者に子どもを担当してもらう場合の子どもの年齢制限は、保護者も保育学生も3歳以上なら可能との回答が最も多い。我々の先行研究の保護者アンケートの中には、男性保育者が女兒のおむつ替えをすることを心配する回答があった²⁾。平成29年告示の保育所保育指針⁹⁾では、保育の内容の1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容の中に、排泄の自立について記されている。そのため、おむつ替えやトイレトレーニング等による着替えの機会が多い3歳未満児では母親と同性である女性保育者を希望する保護者が多いと考える。女性保育者を対象とした先行研究では、男性保育者と働いた経験のある女性保育者は、経験のない者よりも男性保育者の低年齢児担当を認めており、必要とする傾向にあると報告している¹⁰⁾一方で、子どもの視点から考察してみる。Lewis¹¹⁾によると、1歳後半から2歳にかけて、照れや羨望、共感、当惑、誇り、恥、罪悪感といった社会的感情が出現してくるとされている。またこれらが言語化されるのはもう少し大きくなってからである。想像の域

を超えないが、女性保育者におむつ替えや着替えをしてもらうことに恥や照れを感じている男児もいるかもしれない。保護者が男性保育者の3歳未満児の担当に、不安を感じる気持ちを汲む必要があるが、男児・女児とも3歳頃までには自分と他人を意識し始めたり、様々な感情も発達することから、子どもを主体とした考え方で保育者を配置する必要もあると考える。加えて、保育所は児童福祉施設であり、保育を必要とする乳幼児を保育する場である。家庭的な保育の展開には、男性・女性保育者に関わらず、様々な年代の保育者が配置されることが望ましい。

アンケート調査の最後に「男性保育者に望むこと」を尋ねた問いでは、先行研究と同様に「男性らしさを活かした活動」「男性視点」「父親的役割」等を望む声が多い一方で、‘運動遊びのみならず、造形や音楽もできるバランスのよい保育者’や‘男性保育者だから何かしないといけないというような考えは持ってほしくない’といった意見もあり、女性保育者と仕事の役割を分けずに、一緒に働く保育者としてバランスの良い保育者を望む声もあった。男性保育者を巡る議論は後を絶たず、男性保育者に求められることは多い。しかしながら、男性保育者の数は増加しつつも、男性保育者の割合はまだまだ少ない。先行研究でも男性保育者が少数派であることによって不利な立場に置かれがちであると指摘している¹²⁾。男性保育者が保育に対して様々な制限を抱えつつ、世論や保護者の多くの要望に応えることが当たり前にならないよう、性差に関わらず、専門家である保育者としての各個人の能力及び力量が認められ、一緒に働く保育者同士で業務の役割分担することが必要である。

本調査は保育学生を対象として実施したため、一緒に保育を学ぶ学生の中にも男子学生がいる等、男性保育者を身近に理解している集団であったと考える。保育学生以外の学生では異なった意見があるかもしれない。また、学生よりも若い年齢層では、幼児期に男性保育者と接している者がより増えているはずであり、現在の未就学児を持つ保護者とは異なった観点で男性保育者を捉えているかもしれない。これらは今後の検討課題である。本調査にあるような、保育学生が男性保育者に対して持っている意識や男性保育者に接した経験がこれから若い世代に広がれば、現在男性保育者に対して度々巻き起こる世論の意識が性差に捉われない専門職としての受容に変わる要因になることを期待したい。

Ⅵ. まとめ

本調査より、保育学生は男性保育者を賛成しており、一緒に働きたいと考えている者が多いことがわかった。男性保育者と一緒に働きたい理由や今後男性保育者に望むことは、「男性らしさを活かした活動」「男性視点」「父性」であることに加えて、性別に捉われない専門職としての役割分担も期待している。男性保育者に自分の子どもの保育を担当してもらいたいと考えている保育学生は保護者に行った同様の調査と比較して多いことがわかった。これらのことは、男性保育者に接する機会の増加も寄与していると考えられる。

Ⅶ. 付記

本調査は、「保育・教職実践研究（幼稚園）」の授業において、学生が各自のテーマで自発的に幼児教育や保育に関する問題等の理解のために行ったものであり、その内容を筆者らが再構成し、加筆・修正を加えたものである。

Ⅷ. 謝辞

本調査のデータ収集にご協力頂きました2014年度幼児教育学科2年8組のクラス生に感謝いたします。

Ⅸ. 参考文献

- 1) 千葉市. 千葉市立保育所男性保育士活躍推進プラン～男性も女性も心から子育てを楽しめる保育所を目指して～. 2017 <<https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/>> (2017年10月28日アクセス)
- 2) 松本希, 宮宅健人, 澤津まり子. 男性保育者に対する保護者の意識調査. 就実論叢, 44: 303-309, 2014
- 3) 総務省. 平成12年国勢調査. <<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2000/>> (2017年10月28日アクセス)
- 4) 総務省. 平成17年国勢調査. <<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/>> (2017年10月28日アクセス)
- 5) 総務省. 平成22年国勢調査. <<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/>> (2017年10月28日アクセス)
- 6) 菊池政隆. 男性保育者に対する態度－女性保育者・保護者・学生からみて. 保育学研究, 40(2):17-23, 2002
- 7) 米谷光弘, 宮本博伊. 男性保育者の現状と今後の展望. 西南学院大学児童教育学論集, 12(2):1-41, 1986
- 8) 井上清子, 石川洋子. 男性保育者に求められる役割と問題. 生活科学研究, 30:207-214, 2008
- 9) 厚生労働省. 保育所保育指針（厚生労働省告示第百十七号）, 2017
- 10) 中田奈月. 男性保育士による低年齢児保育の困難. 保育士養成研究, 21: 19-27, 2003
- 11) Lewis M. The emergence of human emotions. In M. Lewis, & J. M. Haviland (Eds.), Handbook of emotions. New York: Guilford Press. 223-225, 1993
- 12) 中田奈月. 「男性保育者」の創出－男性保育者の創出が職場の人間関係に及ぼす影響. 保育学研究, 40(2):196-204, 2002